

6 しなぎ「と」ば「、」と「。」①

ねん			
	くみ		
		なまえ	

1 つぎのぶんに「、」「(てん)」をふたつ、「。」(まる)をふたつつけ、それをあとのますにただしくかきましよう。

かもしかはしかの
 なかまではありませ
 かもしかはうしのな
 かまです

「、」「や。」「をつけるとよみやすくなるね。

し	か	は	し	
の	も	あ	か	か
な	し	り	の	も
か	か	ま	な	し
ま	は	せ	か	か
で	、	ん	ま	は
す。	う	。	で	、

6 しなぎ「と」。「と」②

ねん			
	くみ		
		なまえ	

2 ○のなかに、のなかのことはをい
れてつなぎましょう。ぜんぶつかいます。

- ① しゅくだいをして **から** あそびましょう。
- ② あやまった **がの**に ゆるしてくれなかった。
- ③ あめがふった **ので** ぬれてしまった。
- ④ しかられ **ても** くじけません。
- ⑤ そとをみる **と** あめがやんでいた。
- ⑥ あとみつつね **れば** おしよがつだ。
- ⑦ はをみがいた **がの**に おしばになった。
- ⑧ いくらたのん **でも** かってくれない。
- ⑨ あさおき **たら** あめがふっていた。
- ⑩ いそいでいけ **ば** きつとまにあう。

れば・でも・が・から・のに・ので・たら・ても・ば・と